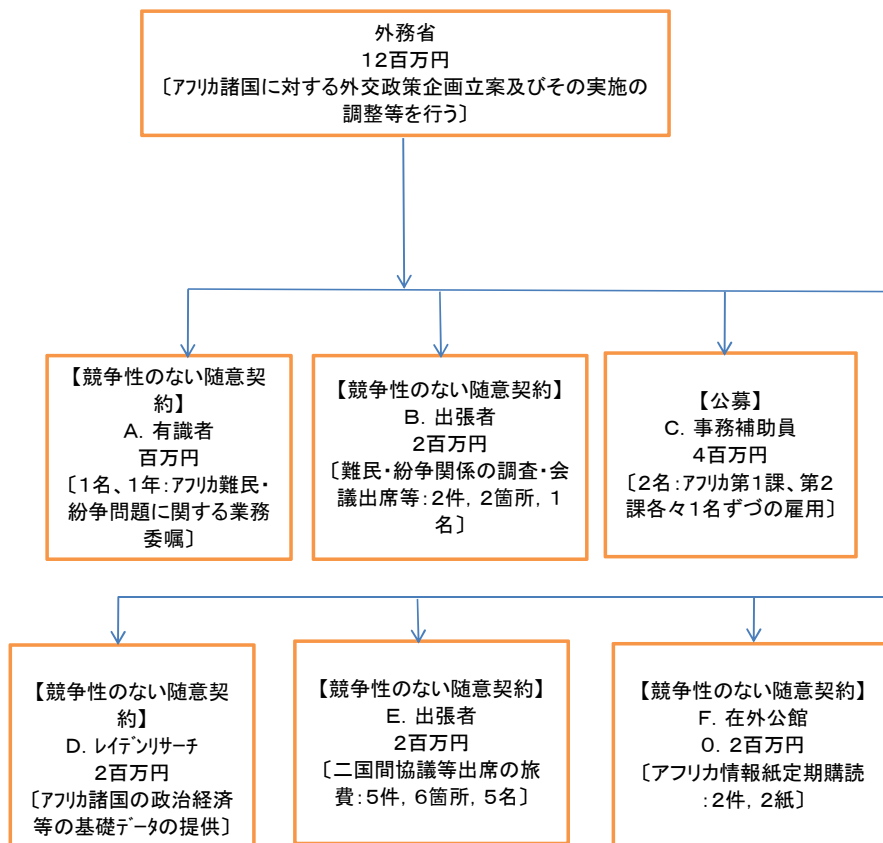


平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	アフリカ地域諸国外交政策費			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度				担当課室	アフリカ第一課			課長 赤松 武	
会計区分	一般会計			施策名	I-6 アフリカ地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2項			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アフリカ諸国に対する外交政策の企画立案及びその実施の総合調整等を行うため。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アフリカ諸国に対する外交政策の企画立案及びその実施の総合調整等を行うため、基礎的なデータの情報収集・蓄積を行うとともに、流動する国際情勢の中で、時宜を得た対応を行うために必要な公開情報の収集、現地調査を行う。また、紛争・難民担当大使を国際会議に派遣し、我が国の立場を表明せしめるとともに、各国代表から情報収集及意見交換を行う。								
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	12	15	15	15		
	執行額		12	11	12				
	執行率(%)		—	95.0%	75.4%				
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度
成果目標: 我が国の対アフリカ政策に資する情報収集、働きかけ 成果実績: 有益な情報収集・働きかけができた先方要人との接触回数(1回の出張につき5名を目標とする。)			成果実績	回	30	41	14	15	
			達成度	%	100%	137%	93%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	活動指標: 紛争・難民担当大使を国際会議に派遣し、アフリカ情勢、多国間協力に関する情報収集、現地調査等を行う。 活動実績: 同大使の国際会議の派遣回数			活動実績 (当初見込み)	回	6	6	3 (3)	— (3)
単位当たりコスト	5百万円(15百万円/3回)			算出根拠	予算額を出張実績で割ったもの				
平成23 (単位:千円 年度予算内訳)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	委託費	1,273	1,440						
	旅費	7,473	7042						
	人件費	3,899	4,216						
	役務費	2,248	2237						
計	14,893	14,935							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	アフリカは「希望と機会の大陸」として概して政治的安定と経済発展を実現しつつある一方、依然として貧困や紛争の問題も存在し、国際社会の高い関心を集めている。我が国は、平和と安定への貢献、開発支援と貿易投資の拡大、グローバルな課題への対応の3本柱に沿って対アフリカ外交を力強く進めている。本件予算は、その基盤ともなる基礎的な情報収集・蓄積、流動する国際情勢に対して時宜を得た対応を行うために必要な公開情報の収集、現地調査を行うためのものであり、我が国の対アフリカ外交にとって不可欠なものである。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A. 有識者			E. 職員		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	謝礼金	1	旅費	職員の出張旅費	2
	計		1	計		2
	B.出張者			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	難民関連調査等のための有識者の出張旅費	2			
	計		2	計		0
	C.事務補助員			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	事務補助員に対する賃金	4			
	計		4	計		0
	D.レイデンリサーチ			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	役務費	アフリカ諸国の政治・経済等のデータ提供	2			
	計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	アフリカ難民関連業務委嘱	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	アフリカ難民関連の出張	2	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	賃金	2	公募	
2	個人B	賃金	2	公募	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	レイデンリサーチ(株)	アフリカ諸国の政治・経済等のデータ提供	2	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	職員の出張経費	1	職員	
2	職員B	職員の出張経費	0.8	職員	
3	職員C	職員の出張経費	0.2	職員	
4	職員D	職員の出張経費	0.03	職員	
5	職員E	職員の出張経費	0.04	職員	
6					
7					
8					
9					
10					

F

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	在英大	アフリカ関係情報誌定期購読料	0.1	在外公館	
2	在仏大	アフリカ関係情報誌定期購読料	0.1	在外公館	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					